

平成30年10月19日（金）
（公財）石川県埋蔵文化財センター
担当：調査部特定事業調査グループ
GL 土屋 宣雄
電話：076-229-4477 内線：6540

白山市古宮遺跡^{ふるみや}現地説明会の開催について

石川県教育委員会が石川県土木部道路建設課から依頼を受け、公益財団法人石川県埋蔵文化財センターに委託している地方道改築事業一般県道手取川自転車道線に係る埋蔵文化財発掘調査における白山市古宮遺跡の現地説明会を下記のとおり開催します。

- 1 日 時 平成30年10月27日（土）
午前11時、午後2時（各回とも45分間程度）小雨実施
- 2 場 所 古宮遺跡発掘調査現場（別添図参照）
- 3 対 象 県民・考古学に関心のある方。（事前申し込み不要）
- 4 調査主体 石川県教育委員会
調査担当：公益財団法人石川県埋蔵文化財センター
- 5 調査期間 平成30年6月下旬～11月上旬（予定）
- 6 調査面積 1,250㎡（予定）
- 7 内 容 発掘調査の概要説明と出土品の公開
- 8 調査成果 手取川の右岸に面した古宮遺跡は、廃線となった旧加賀一の宮駅付近に広がる平安時代から中世にかけての遺跡である。一帯には1480（文明12）年まで白山宮（白山比咩神社の前身）が所在していたとされる。
今回の発掘調査では、平安時代から室町時代の遺構面を最大4面確認した。現在、第1面（室町～戦国期）の調査が終了し、第2面（鎌倉～室町期）と第3面（平安期）の発掘作業を実施中である。調査では、礎石や石列、溝などの遺構を検出し、数多くのカワラケに加えて、中国製の青磁や白磁の碗・皿、瀬戸焼の製品、加賀焼や珠洲焼、越前焼のすり鉢や甕、砥石などの遺物が出土していることから、調査地は白山宮境内の一画である可能性が高い。
- 9 主 催 石川県教育委員会・公益財団法人石川県埋蔵文化財センター
- 10 問合せ先 ○（公財）石川県埋蔵文化財センター 調査部 特定事業調査グループ
電話 076-229-4477（内線6540）
○石川県教育委員会事務局文化財課 埋蔵文化財グループ
電話 076-225-1842（内線5629）



古宮遺跡 調査地の遠景 (東から)



古宮遺跡 調査地の全景 (南東から)



礎石の検出状況（北東から）



石列の検出状況（北東から）



古宮遺跡の位置



古宮遺跡周辺地図

* 国土地理院の電子地形図(タイル)に
キャプションを追記して掲載